

学校教育目標

東陽中学校

明日に夢をもって生きていこう(陽心)
・自ら考え進んで行く生徒(自主)
・健康でたくましい生徒(健康)



大宮南小学校

・かながえる子
・おもいやる子
・やりぬく子

大宮北小学校

・心の豊かな子
・よく考える子
・たくましい子

国府南小学校

・進んで勉強する子
・心の豊かな子
・元気でたくましい子

国府北小学校

・よく考える子ども
・思いやりのある子ども
・がんばる子ども

目指す子ども像

家庭(5P連)



とちぎ未来アシストネット



人とつながり、地域とつながり、自分の力で未来を切り開く東陽の子ども

各発達段階で身に付けさせたい力 ～9年間を見通した指導～

		確かな学力	豊かな心	健やかな体
中学校	中3 中2	<ul style="list-style-type: none"> ・論点を整理しながら意見を述べあったり、互いの考えを生かしあったりしながら、よりよい意見を形成する ・ICTを活用し、自分の伝えたいことがより明確に伝わるよう、相手に応じて用いる情報を取捨選択したり、話や文章の構成を考えたりする ・ねらいに沿って自分の学習を振り返り、次に生かそうとする ・自ら学習を計画し、実践しようとする態度を身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・自他を尊重し、誰に対しても広い心で接する ・自分の思いや考えを、場や相手の立場を考慮した言葉や行動を選んで、適切に伝えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康に対する理解を深め、健全で安全な生活を送ることができる ・自分で目標を設定し、計画的に運動し、健康の保持・増進を図ることができる 
	中1	<ul style="list-style-type: none"> ・筋道を立てて考え、根拠をもって自分の考えを表現しようとする ・情報モラルを意識しながらICTを活用して、自分の考えを表現し、目的や意図に応じて整理する ・自分の考えをもち、聞き合い話し合いながら考えを深めることができる ・課題に対して根気強く追求しようとする態度を身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・場や相手に応じた挨拶や返事をする ・自分の思いや考えを、適切に伝える ・異なる意見・立場を尊重し、相手を認める 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてに向かって最後まで粘り強く頑張る ・心身の健康に関心をもち、健全な生活を送ることができる 
小学校	小6 小5	<ul style="list-style-type: none"> ・話を正しく聞き、内容を理解する ・ICTを活用して、自分の考えを表現する ・友達の考えを聞き、自分の考えと比較したり、関係付けたりして発表する 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ありがとう」「ごめんなさい」など自分の気持ちを言葉で伝える ・友達に優しく接し、協力して活動する(「ふわふわ言葉」の活用) ・決まりや約束を守る 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的な生活習慣を身に付ける(早寝・早起き・朝ごはん 排便の習慣) ・運動の楽しさを味わい、仲良く楽しく運動する 
	4年 3年 2年 1年	<ul style="list-style-type: none"> ・話を正しく聞き、内容を理解する ・ICTを活用して、自分の考えを表現する ・友達の考えを聞き、自分の考えと比較したり、関係付けたりして発表する 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ありがとう」「ごめんなさい」など自分の気持ちを言葉で伝える ・友達に優しく接し、協力して活動する(「ふわふわ言葉」の活用) ・決まりや約束を守る 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的な生活習慣を身に付ける(早寝・早起き・朝ごはん 排便の習慣) ・運動の楽しさを味わい、仲良く楽しく運動する 

本年度の取組

重点目標	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子どもの育成	多様な人との交流を通して自他の存在を尊重し、共に成長する子どもの育成
取組内容 (評価項目)	児童生徒が多様な情報をもとに考え、意見を交流する活動を行う授業をブロック内で検討し、公開授業・授業研究会を実施する。(グローバル教育の推進)	児童生徒同士や児童生徒と地域の方々が交流したり学びを深める機会を設定したりする。(アシストネットの活用)
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価において各学校共通の児童生徒アンケートの評価項目(「授業では、友達の意見や考えをもとに考え発表することができましたか」など)を設定し、85%を成果指標とする。 ・学習状況調査等を活用し、児童生徒の学習に関する同内容の調査項目を成果指標の参考とする。 ・学校評価において、同内容の教職員アンケートの評価項目を設定し、肯定的評価100%を成果指標とする。 ・ブロック内授業研究や校内授業研究の際、授業の様子などを簡単な質問紙、アンケート、聞き取りなどにより把握し、成果指標の参考とする。学校評価や教師の意見だけでなく、児童・生徒に授業に関するアンケート調査を行い参考とする。 ・グローバル教育の推進状況について、児童生徒及び教職員へのアンケートを行い、上記成果指標の参考とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価において各学校共通の児童生徒アンケートの評価項目(「進んで友達同士で協力したり、地域の方々と交流したりすることができましたか」など)を設定し、90%を成果指標とする。 ・学校評価において各学校共通の児童生徒アンケートの評価項目(「進んで友達同士で協力したり、地域の方々と交流したりすることができましたか」など)を設定し、肯定的評価90%を成果指標とする。 ・学校評価において、同内容の保護者アンケートの評価項目を設定し、肯定的評価85%を成果指標とする。 ・各学校において小中や小小交流、地域の方々と交流の際、児童生徒の様子などを簡単な質問紙、アンケート、聞き取りなどを児童生徒及び地域の方(講師の方等)に行うことで、上記成果指標の参考とする。